

# 国立国会図書館



館長対談 第14回

アレクサンドリア図書館長 イスマイル・セラゲルディン氏

## 技術が支える知の殿堂

近代デジタルライブラリー 明治・大正の書物の世界へ

国立国会図書館を見学してみよう 関西館編

2010.2  
No. 587

# 国立国会図書館利用案内

## 東京本館

所在地 〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1  
電話番号 03(3581)2331  
利用案内 03(3506)3300(音声サービス)  
03(3506)3301(FAXサービス)  
ホームページ <http://www.ndl.go.jp/>  
利用できる人 満18歳以上の方  
資料の利用 館内利用のみ。館外への帯出はできません。  
休館日 日曜日、国民の祝日・休日、年末年始、資料整理休館日(第3水曜日)  
おもな資料 和洋の図書、和雑誌、洋雑誌(年刊誌、モノグラフシリーズの一部)、和洋の新聞、各専門室資料

### サービス時間

|        |  |           |                                   |
|--------|--|-----------|-----------------------------------|
| 開館時間   | 月～金曜日 9:30～19:00 土曜日 9:30～17:00                | 即日複写受付    | 月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～16:00 |
|        | ※ただし、音楽・映像資料室、憲政資料室、古典籍資料室の開室時間は17:00までです。     | 後日複写受付    | 月～金曜日 10:00～18:30 土曜日 10:00～16:30 |
| 資料請求時間 | 月～金曜日 9:30～18:00 土曜日 9:30～16:00                | オンライン複写受付 | 月～金曜日 10:00～17:30 土曜日 10:00～15:30 |
|        | ※ただし、音楽・映像資料室、憲政資料室および古典籍資料室の資料請求時間は16:00までです。 |           |                                   |

■見学のお申込み／国立国会図書館 資料提供部 利用者サービス企画課 03(3581)2331 内線26111

## 関西館

所在地 〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3  
電話番号 0774(98)1200(音声サービス)  
利用案内 0774(98)1212(FAXサービス)  
ホームページ <http://www.ndl.go.jp/>  
利用できる人 満18歳以上の方  
資料の利用 館内利用のみ。館外への帯出はできません。  
休館日 日曜日、国民の祝日・休日、年末年始、資料整理休館日(第3水曜日)  
おもな資料 和図書・和雑誌・新聞の一部、洋雑誌、アジア言語資料・アジア関係資料(図書、雑誌、新聞)、科学技術関係資料、文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書、博士論文

### サービス時間

|         |                   |           |                   |
|---------|-------------------|-----------|-------------------|
| 開館時間    | 月～土曜日 10:00～18:00 | 即日複写受付    | 月～土曜日 10:00～17:00 |
| 資料請求時間  | 月～土曜日 10:00～17:15 | 後日複写受付    | 月～土曜日 10:00～17:45 |
| セルフ複写受付 | 月～土曜日 10:00～17:30 | オンライン複写受付 | 月～土曜日 10:00～17:00 |

■見学のお申込み／国立国会図書館関西館 総務課 0774(98)1224 [直通]

## 国際子ども図書館

所在地 〒110-0007 東京都台東区上野公園12-49  
電話番号 03(3827)2053  
利用案内 03(3827)2069(音声・FAXサービス)  
ホームページ <http://www.kodomo.go.jp/>  
利用できる人 どなたでも利用できます(ただし第一・第二資料室は満18歳以上の方)。  
資料の利用 館内利用のみ。館外への帯出はできません。  
休館日 月曜日、国民の祝日・休日(5月5日こどもの日は開館)、年末年始、資料整理休館日(第3水曜日)  
※第一・第二資料室は、休館日のほか日曜日に休室します。メディアふれあいコーナーと本のミュージアムは、行事等のため休室することがあります。  
おもな資料 国内外の児童図書・児童雑誌、児童書関連資料

### サービス時間

|               |                  |   |                          |
|---------------|------------------|---|--------------------------|
| 開館時間          | 火～日曜日 9:30～17:00 | ※1階子どものへや、世界を知るへやおよび3階メディアふれあいコーナー、本のミュージアムの利用時間は、開館時間と同じく9:30～17:00です。 |                          |
| 第一・第二資料室の利用時間 | 閲覧時間             | 火～土曜日 9:30～17:00  | 資料請求時間 火～土曜日 9:30～16:30  |
| 複写サービス時間      | 即日複写受付           | 火～日曜日 10:00～16:00   | 後日複写受付 火～日曜日 10:00～16:30 |
|               | 複写製品引渡し          | 火～日曜日 10:30～12:00 13:00～16:30   |                          |

■見学のお申込み／国立国会図書館国際子ども図書館 03(3827)2053 [代表]

# 2 February

## CONTENTS

- 02 くまのプーさん 20世紀初頭の子どものための物語  
今月の一冊 国立国会図書館の蔵書から
- 04 国立国会図書館 館長対談 第14回  
アレクサンドリア図書館長 イスマイル・セラゲルディン 氏  
技術が支える知の殿堂
- 10 パピルスから PDF へ よみがえるアレクサンドリア図書館
- 14 近代デジタルライブラリー 明治・大正の書物の世界へ
- 20 国立国会図書館を見学してみよう 関西館編
- 24 本の森を歩く 第1回 恋愛論の100年を読む
- 26 地図資料の探し方 図書館で学ぶ 第6回
- 31 官報 東京本館議会官庁資料室の資料から

---

### 19 館内スコープ

デジタル化担当者のある一日  
“物”と“デジタル”の間で

### 34 本屋にない本

- 『ブラジル花卉産業史序説』
- 『スリランカ 輝く島の美に出会う 特別展』
- 『隅田川文化の誕生 梅若伝説と幻の町・隅田宿  
すみだ郷土文化資料館開館十周年記念特別展 展示  
図録』

### 37 NDL NEWS

- 法規の制定

### 38 お知らせ

- 平成21年度利用者アンケートの結果をホームページに掲載しました
- 携帯電話向けサイトを開設しました
- 「カレントアウェアネス」関連情報のTwitterによる試行提供を開始しました
- 『参考書誌研究』バックナンバーをホームページに掲載しました
- 新刊案内 国立国会図書館の編集・刊行物

# くまのプーさん 20世紀初頭の子ども

齊藤 史

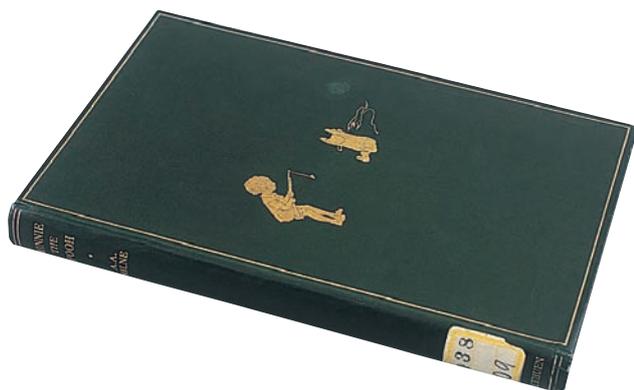


写真1

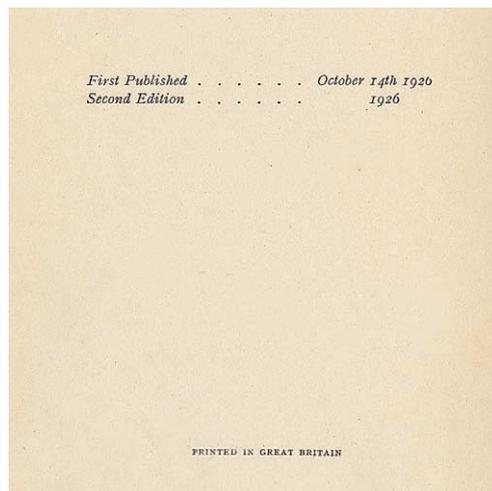


写真2 標題紙裏（部分）

いまや世界的な人気ものである「くまのプーさん」は、イギリスの作家、A.A. ミルンが20世紀初頭に書いた子ども向けの物語集の中から生まれました。プーさんが登場するミルンの作品は全部で4タイトルありますが、今回ご紹介するのは、くまが初めて「プー」という名前が登場した作品、“Winnie-the-Pooh”です。初版は1926年10月14日にロンドンで出版されており、国立国会図書館では、初版のほか、ほとんど間を置かずに出版された再版を所蔵しています（写真1、2）。緑の地の表紙に金色のプーさんとクリストファー・ロビンが描かれたかわいらしい作りのこの本では、E.H. シェパードの挿絵も美しく残っています。原画に近いと思われる繊細な描写が他の版よりも保たれ、キャラクターの表情をより深く楽しむことができます。

ミルンはもともと大人向けの作品を書く劇作家でしたが、息子が生まれたこと等をきっかけとして子ども向けの作品を書き始めました。“Winnie-the-Pooh”は、10話

の短い話から構成され、それらを父ミルンが息子クリストファー・ロビンに向けて語るという構成になっています。話の中では、百町森という空想世界を舞台にクリストファー・ロビンと彼のお気に入りのテディ・ベア「プー」が主人公となり、仲間達とともに楽しい日々を過ごしています。子どもを楽しませるナンセンス、言葉遊びなどに満ちあふれ、教訓的要素は皆無のこの作品は、シェパードによる挿絵とともに大人気を博しました。日本でも石井桃子による訳をはじめとして多くの翻訳版が岩波書店等から出版されています（写真3）。

19世紀半ばから20世紀初頭のイギリスは、児童文学の黄金期といわれています。ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』、J.M. バリーの『ピーター・パン』などもこの時代に書かれました。背景には、当時の社会における、子どもに対する関心の高まりがあります。多くの歴史家が、子どもが独自の世界をもつ保護されるべき存在として認識

# ための物語



写真3 岩波書店から発行された『クマのプーさん』の一部。左から、岩波世界児童文学集 新装版（2003年）、岩波少年文庫 新版（2000年）、刊行80年を記念したアニバーサリー版（2006年）

されだしたのは19世紀になってからであると指摘していますが、当時のイギリスはまさにこの価値観が広まった時代で、特に中産階級以上の家庭では子どもらしさを極端にもてはやするような風潮もありました。この流れの中で生まれた児童文学作品は、現実社会の思想を反映して、純粹、無垢といった子どもの特徴を理想化しすぎているともいわれています。そんな中で、ミルンが「プーさん」で描く子どもの世界は、抜きん出て自然であると評価されています。それには、作品が黄金期の最後の時期に書かれたもので、あまりに理想的な世界がもはや受け入れられなくなっていたという事情もあるようですが、何よりも、作者が実際に自分の息子と触れあう中で生み出した作品であることが大きく影響しているように思われます。

「プーさん」はその後ディズニー映画になったり、文学的に研究されたり、キャラクター分析の対象となったりと様々な広がりを見せています。また、このシリーズが有名

になりすぎたことで、後に現実のクリストファー・ロビンと父ミルンとの間に葛藤が生まれたことも知られています。しかし、そういった諸々の後日談とは別に、この本からは、子どもを楽しませようとして丁寧に作られた愛すべき物語としてのイメージが伝わってくるように思います。

（さいとう ふみ）

A.A. Milne, with decorations by Ernest H. Shepard.

*Winnie-the-Pooh*. London: Methuen, 1926.

〈請求記号 特 38-09〉

#### 参考文献

- ジャッキー・ヴォルシュレガー 『不思議の国をつくる キャロル、リア、バリー、グレアム、ミルンの作品と生涯』 河出書房新社 1997
- 安達まみ 『くまのプーさん 英国文学の想像力』 光文社 2002
- 『特集 くまのプーさん--ビター・スウィート』 『ユリイカ』 36 (1) (通号 488) 2004.1

※初版は国際子ども図書館で、再版は個人から寄贈されたコレクションの一部として東京本館で所蔵しています。

第14回 技術が支える知の殿堂

「古いシステムへの挑戦は、  
思慮深い人々が、法の枠内で、  
最高の文化を進歩させるという形で  
行われなければなりません。」

今月号のお客様 アレクサンドリア図書館長 イスマイル・セラゲルディン 氏



世界的な注目を集めるアレクサンドリア図書館長として、情報技術を駆使した文化・教育事業に取り組んでおられるセラゲルディン氏に、知的サービスのあり方についてお話を伺いました。

**長尾** 今日、日本でも経済状態が悪化し、国立国会図書館も予算削減の中で努力しています。アレクサンドリア図書館は非常に大きな組織ですが、予算、職員数はどうなっていますか。

**セラゲルディン** 当館では2千人のスタッフが働いています。うち180人はカイロ勤務です。警備・清掃関係が300名余り、それら以外に千名以上いて、平均年齢は30歳、51%が女性です。図書館の年間運営費は約2千万米ドルです。

**長尾** アレクサンドリア図書館はデジタル関係で色々活発な活動をしておられますが、情報技術の専門家はどのような方々ですか。

**セラゲルディン** ソフトウェア、システム、スーパーコンピュータ、インターネットアーカイブ…これらの最新技術に対応するスタッフがいます。エジプトで最高のITチームと自負しています。一般の図書館員とは別枠で採用していて、図書館員が必要な機能の要望を出し、技術スタッフがそれをデザインするという相互補完関係にあります。人数はアレクサンドリアに240人、カイロに50人です。

**長尾** デジタル化は図書館の中で行っていますか。我々は外注していますが。

**セラゲルディン** 図書館内で行っています。当館の得意分野であり、Million Book Project<sup>1</sup>では全体の5%の業務量をこなしました。我々に外注してもいいですよ(笑)。

**長尾** アレクサンドリア図書館は、学校教育にも積極的に関与しています。学校教育の中でデジタル図書館、デジタル・コンテンツはどう定着し、利用されていくとお考えですか。

**セラゲルディン** エジプトではデジタル教材は普及していません。まだPCを利用できない貧しい地区もあります。我々は、フランス科学アカデミー(Académie des sciences)の出版物

をアラビア語に訳して、教材としてインターネットを通じて提供しています。また科学のスーパーコース<sup>2</sup>では、パワーポイント資料を無料で提供し、DVDも配布しています。なお、いずれも対象は教員で生徒ではありません。

**長尾** 日本では、著作権法上、デジタルデータを公共図書館に貸与したり、学校に転送することはできません。エジプトでは、著作権保護期間内の書物もデジタル送信できますか。

**セラゲルディン** いいえ。アレクサンドリア図書館は、所蔵資料のうち12万5千冊をデジタル形式で提供しています。著作権が切れたものはすべてネット上で提供し、著作権が有効なものについては、著作権者や出版社の同意を得た上で、1冊の5%のみネット上で提供し、5%を超える場合にはコピー(印刷物)を提供しています。コピーは絶版か否かにかかわらず、エスプレッソ・ブック・マシーン<sup>3</sup>で即座に印刷します。

私の構想は、将来的にすべての資料がオンライン上で提供され、利用者はダウンロード毎に料金を支払うというものです。電子書籍用の端末へのダウンロードだけでなく、内容を印刷する場合も同様です。こういった印刷機が銀行のATMのように使えるようになれば、絶版もなく、著作権も守られます。

しかし、個別の出版社の同意を取りつけるのは大変です。オンデマンドの印刷・出版用機器を扱うオンデマンドブックス社は2009年9月に、グーグルの所有する本のデータへのアクセスについてグーグルと合意しています。グーグルは

<sup>1</sup> 米国のカーネギーメロン大学とアレクサンドリア図書館等が共同で取り組んだ、書籍150万冊のデジタル化プロジェクト。現在、一部がウェブ上で無料提供されている。

<sup>2</sup> 専門家の講義内容を電子的媒体で提供するプログラム。

<sup>3</sup> オンデマンドブックス(On Demand Books)社の提供する、オンデマンドで印刷・製本を行う機械。

## 長尾

電子図書館の資料を誰でも自由に使えるようにするには、対価が出版社・著者に還元されなければなりません



Makoto Nagao

1936年生まれ 工学博士

専門は、自然言語処理、画像処理、パターン認識、電子図書館。

京都大学工学部電子工学科卒業、京都大学総長(第23代)、独立行政法人情報通信研究機構理事長を経て、2007年4月から国立国会図書館長。

### 私の問題意識

アレクサンドリア図書館は紀元前3世紀から数百年続き、当時の地中海世界の英知を集めて学問・研究を行った、世界最古といっ  
てよい図書館だった。これを復興しようとエジプト政府が力を入れて作った図書館の初代館長がセラゲルディン氏である。この図書館は未来指向の図書館として電子図書館の建設を明確な目標にかかげるとともに、図書資料だけでなく、美術館、博物館機能や教育機能をも持った総合的な知の殿堂を築こうとしている。その内容を詳しく知りたかった。

数百万冊の本のデータを持っているので、提携が進めば容易に本が提供できることになり  
ます。今後5～10年間に大きな動きがあるでしょう。

**長尾** 電子図書館の資料を誰でも自由に使えるようにするには、対価が出版社・著者に還元されなければなりません。私も2年ほど前にビジネス・モデルを作り、出版社・著者がダメージを受けないモデルを提案しました。エジプトやヨーロッパでもそういう方向がありますか。

**セラゲルディン** そうですね。例えば、ノルウェーの制度で、政府が税金を徴収し、これを著者に支払うことで本を無償で提供するというものがあります。もう一つ、翻訳について注目すべき制度があります。これはエジプトの法律で、アメリカが反対していますが、著作権所有者がアラビア語への翻訳を3年間拒み続けたら、許諾なく翻訳することを認めるという内容です。貧しい開発途上国にとって、自国言語で著作物にアクセスできることは重要です。この制度に反対しているのは出版社で、著者は翻訳されることをむしろ喜んでいます。

**長尾** 日本における議論も、出版社とどこで合意するかというところにきています。今グーグルの問題が出ましたが、特にフランスの図書館等では、グーグル検索における英語優先が文化の多様性を破壊するとの危惧が出されています。アラビア語の場合、どんな議論がありますか。

**セラゲルディン** 議論はあまりありません。現状ではアラビア語の電子コンテンツが弱すぎ、非アラビア語の検索エンジンに載せるチャンスも限定的だからです。

話は少し変わりますが、ワールド・デジタル・ライブラリー<sup>4</sup>こそは世界のすべての文化を表現

する手段だと思えます。すべての文化に敬意を表し、文化の多様性が豊かであることを保障し、言語を尊重するように構成されているのです。50年後には、何百万の資料を含む巨大なコレクションに成長しているかもしれません。

**長尾** そのワールド・デジタル・ライブラリーですが、どこまで発展していけるか、どこが中心となって知識の体系の整理を進めるかについてお尋ねしたいと思います。

**セラゲルディン** 我々が中心にかかわっているのは、ほとんどIT分野、複数言語を扱う中枢部分です。検索技術の蓄積があるので、我々が担当しています。

ワールド・デジタル・ライブラリーの組織化は、いずれは憲章に基づいて交代制の運営理事会が置かれるので、そこが対応することになるでしょう。もう一つ、ワールド・デジタル・ライブラリーがすばらしいのは、検索と並んでブラウジング機能に重点を置いている点です。オンライン書店アマゾンのように、検索結果の関連情報が表示されるようになっています。ブラウジングは、巨大な電子図書館を構築する上できわめて重要な要素であると考えます。

**長尾** 面白いご指摘ですね。ワールド・デジタル・ライブラリーとは別に、欧州ではEuropeana<sup>5</sup>という電子図書館の構築が強力に推進されています。両者の関係についてどうお考えですか。

4 米国議会図書館と国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)が共同で推進するプロジェクトで、各国の文化の特色を示すデジタルコンテンツを一望できるウェブサイト。2009年4月公開。アレクサンドリア図書館もウェブサイトの構築に大きな役割を果たした。詳細は本誌580(2009年7月)号 pp.4-9参照。

5 2008年11月に公開された欧州の電子図書館。国立図書館、公文書館、博物館等1,000以上の文化機関が参加し、公開時点でテキスト、画像、動画、音声といった欧州の文化遺産約200万点の検索・閲覧が可能。



Ismail Serageldin

1944年生まれ 1964年カイロ大学卒業。1968年ハーバード大学修士課程、1972年ハーバード大学博士課程修了。世界水パートナーシップの創設者および委員長、国際農業研究協議グループ委員長、世界銀行の副総裁(環境・社会・持続可能開発担当)、国連の文明の同盟に関するハイレベルパネル等を歴任。2001年、新アレクサンドリア図書館の初代館長に就任。生物工学、地方開発、持続可能性、社会における科学の価値等に関して著書多数。

## セラゲルディン

ブラウジングは、巨大な電子図書館を構築する上できわめて重要な要素であると考えます

**セラゲルディン** Europeanaとワールド・デジタル・ライブラリーは競合関係にあるともいえます。Europeanaには、増え続ける27言語のコンテンツをどうまとめるのかという根本的な問題があります。私は世界全体を見ることができるワールド・デジタル・ライブラリーの方が好きです。

**長尾** 国立国会図書館は、漢字文化圏内で検索を共通にし、情報資源の共有を可能とするため、中韓の国立図書館と三者間協議を始めました。アラビア語文化圏での協調・連携はどうですか。

**セラゲルディン** 現在、アラブ諸国とアラブ総合目録の作成に取り組んでいます。これには、アラビア語文化圏における人名などの典拠リストを作ってデータを統合することが必要です。アレクサンドリア図書館の目録は、アラビア語文化圏においては権威あるものですが、標準化に対応しなければなりません。また、資料のデジタル化でも協調しています。提供方法は後で決めるとして、デジタル化の作業だけは済ませておこうというわけです。

**長尾** 当館も補正予算により大規模なデジタル化を進める予定ですが、目の不自由な方等からは、テキストを自動音声生成装置で読めるフォーマットの要求が寄せられています。一方で、いわゆるデジタルデバイドの問題もあります。これらの問題をどうお考えですか。

**セラゲルディン** ジッダ(サウジアラビア)のイスラム開発銀行が、テキストを音声に変換する機器の導入を支援しています。現在、平均成功率98%のプログラムを開発しているところです。とはいえ、人々は合成音声より肉声を好んでいるので、自動音声生成機の導入は先のことでしょう。

**長尾** 障害者の方に対してのサービスは、身近な地域の図書館を通じてという形になると思いますが、その点はいかがでしょう。日本では最近著作権法改正により、障害者の方に対しては、公共図書館がデジタルデータを作って提供できるようになりました。この種のデータの流通が活性化することを期待しているのですが。

**セラゲルディン** そうですね。アレクサンドリア図書館では、視聴覚障害者向け資料のデータをDVDで公共図書館に配布することを考えています。直接利用者に配布することも可能ですが、最初に数千枚を配布し、各図書館に1枚につき5枚コピーして配布するよう頼めば、ネズミ算効果を得られます。我々のスーパーコースでは、世界に50万枚を配布した実績があるのですよ。

**長尾** スーパーコースは興味深い試みですね。どのようなレベルを対象にしているのですか。

**セラゲルディン** 高校から大学院までをターゲットにしています。スーパーコースの目的は、専門家の講義を、無償で、使いやすいフォーマットで教師に提供することです。教育の主流は、今も昔も教師が生徒に教える形式です。配布資料をそのまま使うことも、アレンジを加えることも教師の裁量に委ねられています。

**長尾** その事業はアレクサンドリア図書館が単独で行っているのですか。それとも他の機関と提携しているのですか。

**セラゲルディン** ピッツバーグ大学のチームが、WHOと共同で疫学コースを作ったのが端緒で、2002年に我々と共同で現プログラムを始めました。アドバイザーにはヴィントン・サーフ<sup>6</sup>、ギルバート・オーメン<sup>7</sup>が名を連ねています。我々は図書館らしく、教材作成の材料を提供することに専念しています。スーパーコースのすばらしい

点は、一般に出回るまでにかかる時間のかかる最新・最高の講義内容を迅速かつ無料で提供できるということです。

**長尾** アレクサンドリア図書館には、図書館のほかに美術館・博物館があります。日本では、そういったトータルな組織はなく、MLA（博物館・図書館・文書館）連携が話題となっています。MLAのデジタル・コンテンツを、使いやすい統合システムにできるのではないかという議論です。アレクサンドリア図書館では、トータルな利用についてどう工夫していますか。

**セラゲルディン** 資料の組織化は難しい業務です。学芸員、司書、IT担当者、科学者等の管理者が異なる組織文化を背負っているからです。今我々はエジプト関連のコレクションをすべてデジタル化するGreat Egyptian Museumを構築するために、七つの博物館と協定を結んでいます。例えば、トリノ、ユトレヒト、カイロそれぞれの博物館が所蔵する第18王朝の木像を比較して見ることができるよう、それに必要な情報の内容や形式を標準化します。次のステップは、博物館のコレクションを、それに関する我々の文献——例えば第18王朝、木像、木材といった、テーマに分類された文献のデジタルデータにリンクすることです。組織、著作権、協定等の問題に比べれば、技術的な問題は先に解決できると思います。

古い著作権システムを守ろうとしている人々がいますが、新しい技術があるところで古いビジネスモデルを守ることではできません。自動車が馬車に取って代わったように、新しい技術が

必ず勝つのです。問題は、すでにできあがったシステムへの挑戦が、多くの場合、法を無視した若者達によって無軌道に行われていることです。古いシステムへの挑戦は、思慮深い人々が、法の枠内で、最高の文化を進歩させるという形で行われなければなりません。これは我々の義務であり、困難も多いのですが、最終的に進歩させることができると考えています。

**長尾** 非常に勇気づけられる発言でした。日本においても、優れた知の殿堂を日本全体でつくっていきたいと思います。先生のエジプトと日本をつないでいきますのご活躍を期待しております。今日はありがとうございました。

対談を終えて

セラゲルディン氏は経歴からも分るように、自然科学分野の出身ではあるが、社会科学分野などにも造詣の深いオールラウンドプレイヤーであり、特に世界的視点からの地域開発問題を手掛け、発展途上国等における文化・教育を大切に、健全な社会を作ってゆくことについて深い考察をしている方である。

氏がそういった視点から、米国やユネスコなどと連携しながら、世界に類例のない未来型電子図書館を建設するために力を尽しておられるのは立派である。特に自国言語で世界の知的資産を読めるようにする努力、障害者向けの努力、また教育における図書館利用への努力など、様々のことに挑戦しておられるのは興味深かった。アラビア語文化圏の活動はこれから益々重要になってゆくが、その1つの中心としてアレクサンドリア図書館の発展に期待したい。（長尾）

（この対談は2009年10月2日に東京本館で行われました。）

6 Cerf, G. Vinton TCP/IPプロトコル設計にかかわり、「インターネットの父」と称される米国の情報工学者。現グーグル副社長。

7 Omenn, Gilbert S. ミシガン大学の内科医学、人類遺伝子学、公衆衛生教授。

## パピルスから PDF へ よみがえるアレクサン ドリアン・セラゲルディン氏 (アレクサンドリア図書館長)

### 古代図書館

古代アレクサンドリア図書館の物語はアレクサンドロス大王の征服から始まります。アリストテレスの生徒でもあった大王は、単なる征服者ではなく、新帝国にふさわしい文化のビジョンももっていたのです。

彼の死後、アレクサンドリアを世界文化の中心にする役割は、エジプトに割拠したプトレマイオス1世に継承されました。図書館建設に寄与したのが、彼の顧問ファレロンのデメトリウスです。アレクサンドリアを世界で最も偉大な都市にするためデメトリウスが行った提案とは、世界最高の識者を集め、自由に学問をさせるという型破りなものでした。かくして詩神ムーサイに捧げられた神殿ムセイオンが建てられ、集まった学者達の集会所とされたのです。これはアカデミー、図書館、シンクタンクの融合体で、総合的な学術施設でした。プトレマイオス2世治下、ムセイオンは飛躍的に拡大し、その付属図書館である古代アレクサンドリア図書館は、世界中の資料の収集を目指すこととなります。

古代アレクサンドリア図書館は70万巻の書物を所蔵していたという記録があります。世界の知識量との比率で考えれば、史上最大の図書館といえます。図書館の拡大に伴い、第一の図書館に隣接する海沿いに第二の図書館ビブリオンが、その後街の反対側のセラピス神の神殿セラベウムに第



三の図書館が建設されました。

古代アレクサンドリア図書館には綺羅星のごとき知性が集まりました。図書館学の父カリマルコス、地動説提唱者アリスタルコス、地球の外周を驚異的正確さで計算したエラステネス…そして幾何学の祖エウクレイデス。著述後2200年間にわたりそのまま教材として使われる書物を書いたのは彼だけです。

古代図書館は、4世紀以上に渡ってゆるやかに衰退し、3度の大事件を経て滅びました。最初の事件は女王クレオパトラと弟との内戦で、女王に加担したカエサルがエジプト艦隊を焼き払った際に海沿いの図書館を延焼させ、4万～40万の書物が焼失したといわれています。次がローマとパルミラの戦争です。269年パルミラの女王ゼノビアがアレクサンドリアを占領し、ローマ軍による奪還戦でムセイオンを含む王宮地区が破壊されま

# ドリア図書館

した。そして391年、テオドシウス帝がキリスト教以外の宗教を禁止すると、異教の神殿であるセラベウムが焼き討ちされました。それ以降も学者の個人蔵書という形で少しは本が残っていましたが、ヒュパティア（アレクサンドリアの歴史を飾る数学者、天文学者、そして哲学者として優れた才媛）

がキリスト教徒に惨殺されると、学者達は街から逃げ出し、世界的学府としての歴史を終え、暗黒時代が始まったのです。

さてここでもう一人、大きな役割を果たした女性を挙げなければなりません。スザンヌ・ムバラク大統領夫人です。夫人が大統領を動かし、図書館再興を全国的、国際的な運動とし、現在はアレクサンドリア図書館理事会の理事長を務めています。このように、アレクサンドリア図書館の歴史の随所に偉大な女性が登場します。

## 図書館と新技術

再興の話が持ち上がった頃に比べ、図書館を取り巻く環境は変わりました。コンピュータやオンライン目録等が導入され、インターネットも無視



できない存在となっています。

またグーグルは電子図書館事業の推進によって、出版という概念、そして未来像に影響を与え、アマゾン、ソニー等が、キンドル<sup>1</sup>などを通じて電子書籍で新しいビジネスを開拓する勢いを見せています。図書館は、出版社と並ぶ電子メディアのコンテンツ提供者となることでしょう。それも単に情報を提供するだけでなく、大学や研究所と協力して整理された知識領域の組織者となることが重要です。情報が完全にデジタル化されることで、相互にリンクされた知識を探し当てることが可能となり、検索と知識の組織化はまったく新しいものになるのです。

1 アマゾン社が販売する電子書籍端末。

## 新アレクサンドリア図書館

新たなアレクサンドリア図書館は、非常に目立つ4階建ての巨大複合施設となりました（前頁写真）。図書館の御影石の壁には世界中の言語の文字が彫られ（右写真）、世界の文化に開放的であれと呼びかけてい



ます。古代の精神を受け継ぐためにも、当館は単なる図書館以上の存在たかねばなりません。

このためアレクサンドリア図書館には、インターネットアーカイブセンター、会議場、プラネタリウム、博物館、美術館、研究所が備えられています。訪問者は年間約120万人（内40万人が図書館の利用者）、ウェブサイトの年間アクセスは約3億件、イベント開催数は年間約700回、芸術教室活動は年間316回で、国内、地域、国際レベルでの協力活動の拠点となっています。

視覚障害者図書館、児童図書館（5～11歳）、青少年図書館（11～16歳）、マルチメディア図書館、貴重書図書館、インターネットアーカイブ等の専門図書館を置き、サダト博物館、写本博物館、考古学博物館、プラネタリウムとエクスペラトリウム（体験型の科学教育施設）を備えた科学博物館の四つの博物館において、常時九つの常設展示と四つの企画展示があります。

加えて、写本、カリグラフィーおよび書物、特別研究（エジプトの研究者や科学者と世界中の人々をつなぐバーチャルセンター）、ドキュメンテーション、ISIS（International School of Information Science）、芸術、Alex-Med（地中海におけるアレクサンドリアの役割を研究する）等のための研究所があります。エジプトの知識人を動員し、人権と表現の自由を守る対話フォーラムを開催し、アラブ各国における1,500のNGOに関する情報のポータルサイト「アラブ・インフォモール（Arab Info Mall）」を運営しています。

さらに、アレクサンドリア図書館は毎週二つの番組を持っており、私がホスト役を務める対談番組と、図書館の最新ニュースを放送しています。

アレクサンドリア図書館は世界的な知識人、政治家、ノーベル賞受賞者の集まる場所となりつつあり、我々が設置したアレクサンドリア図書館アカデミーの創設者40人には、20人のノーベル賞受賞者が名を連ねています。

これらの活動により、アレクサンドリア図書館は、電子図書館として過去・現在・未来に展望を広げます。

過去については、デジタル化した写本、古代エジプトの地図、エジプトの自然遺産、全国アラブ音楽データベース等のプロジェクトに加え、故ナセル大統領関連文書、スエズ運河関連文書等を含む「近代エジプトの記憶」プログラムを推進しています。

現在については、Million Book Project<sup>2</sup>に参画

して12万件の図書を電子化し、インターネットアーカイブを維持する等の活動を行っています。また、科学分野のスーパーコース<sup>3</sup>を開講して、最新内容のパワーポイント教材を無料配布しています。また、アラブ諸国向けに世界銀行の「開発ゲートウェイ」<sup>4</sup>を管理しています。

未来については、反啓蒙主義、狂信、排外主義に対して我々の価値観を守ることが重要となります。また新しい技術の開発・導入も大事です。国連大学と提携して中間言語 (UNDL)<sup>5</sup>の開発にかかわっています。また、デジタル資料を印刷するためのエスプレッソ・ブック・マシーン<sup>6</sup>のプロトタイプを設置し、著作権の問題さえクリアできれば即座に本を印刷できる体制も整えました。これで古典作品の再刊も可能です。

### 学術研究のための基盤

アレクサンドリア図書館の特徴は、学術研究のための基盤が体系的に備えられていることです。具体的には、フルテキストのオンライン・ジャーナル4万5千タイトル、高い演算能力を持つスーパーコンピュータ、3Dの仮想現実による分析を行うシステム VISTA (Virtual Immersive Science and Technology Applications)、書籍1200万冊分のデータを収容できるサーバが並ぶ大容量保存施設、そしてエジプトの科学者を世界とつなぐ広域接続回線などです。

### ワールド・デジタル・ライブラリー

アレクサンドリア図書館は、世界各国の図書館等によるプロジェクトであるワールド・デジタル・ライブラリー<sup>7</sup>の一翼を担っています。ワールド・デジタル・ライブラリーでは、各国の文化の特色を示す地図、絵画、写本、図書等の24以上の言語のコンテンツを7言語で検索・閲覧することができます。

アレクサンドリア図書館は、このようなデジタルの時代に生まれ、より良い未来の作り手に加わることを誇りに思っています。すべての人々に、すべての知識へのユニバーサル・アクセスを常に提供し、互いに協力しあうことで、すべての世代、世界のためにできることがたくさんあると考えています。

(Ismail Serageldin

総務部支部図書館・協力課編)

この講演は平成21年10月2日に東京本館において行われました。続いて行われたセラゲルディン氏と長尾国立国会図書館長の対談、氏の経歴は本誌pp.4-9に掲載しています。

2 本誌 p.5 脚注1 参照。

3 本誌 p.5 脚注2 参照。

4 発展途上国の開発、援助等を促進するための情報ツールを提供する非営利団体。元々は世界銀行の一プログラムだった。<http://www.developmentgateway.org/>

5 Universal Networking Digital Language インターネット上で各国語を翻訳し互換させるための人工言語。

6 本誌 p.5 脚注3 参照。

7 本誌 p.7 脚注4 参照。

## 近代デジタルライブラリー 明治・大正



「明治・大正時代に出版された古い本を、自宅や学校で読みたい…」このような思いに応えてくれるのが国立国会図書館の「近代デジタルライブラリー」です。

近代デジタルライブラリーは、明治期・大正期に刊行された図書の本文画像をインターネットを通じて提供するサービスです。現在、著作権処理を行った所蔵資料約15万6千冊を収録しています。

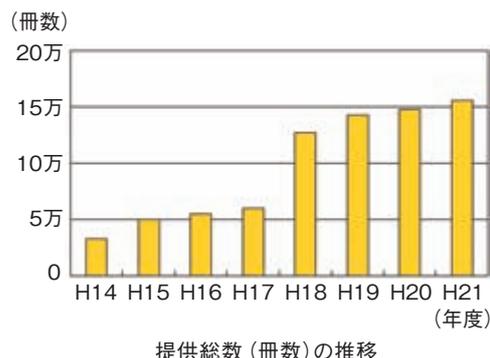
紙の本に代えてデジタルデータを提供することにより、国民の文化的財産である国立国会図書館の蔵書を損傷から守るという役割も果たしています。

### 1 沿革

近代デジタルライブラリーは、平成14年10月の関西館開館を機に、明治期に刊行され、著作権保護期間を満了した図書から提供を開始しました。当初の収録資料は人文・社会科学分野に限られていましたが、平成15年には、自然科学・工業・

産業・言語等幅広い分野へと拡張しました。その後も収録タイトル数は増え、平成19年には大正期に刊行された図書の提供を開始しました。

平成22年2月現在、国立国会図書館の所蔵資料のうち、明治期の図書については75%を、大正期の図書については22%を提供しています。収録数は約10万8千タイトル（約15万6千冊）にのびります。アクセス数も順調に伸びており、平成21年は1日あたり約2万コマ分のアクセスがありました。今後も、収録数のさらなる増加を目指して作業を進めていく予定です。



## の書物の世界へ

### 平成 21 年度に収録した資料から

■『建築写真類聚』建築写真類聚刊行会編 洪洋社  
大正 9-15 (1920-1926) 年

大正 9 年から昭和 18 年にかけて刊行された建築写真・図面集です。近代デジタルライブラリーでは、大正時代に刊行されたもののうち、約 70 巻を提供しています。こちらの写真の建物は関東大震災で被災する前のニコライ堂で、「特殊建築 巻 1」に掲載されています。(画像は 13 コマ目)



■『真夏の夜乃夢』シェークスピア著 坪内逍遙訳  
早稲田大学出版部 大正 4 (1915) 年

坪内逍遙はシェークスピア作品の翻訳書を多数残しました。『真夏の夜乃夢』のほかにも『ハムレット』、『ロミオとジュリエット』、『テンペスト』などの翻訳を手がけており、近代デジタルライブラリーでご覧になれます。(画像は 38 コマ目)



■『陥落』岡本一平著・画 磯部甲陽堂 大正 3 (1914) 年

岡本一平は芸術家・岡本太郎の父です。朝日新聞の漫画記者として活動し、漫画に解説文をつけた「漫画漫文」という独自のスタイルを築きました。本書は第一次世界大戦中におけるドイツ対日本の戦況報告として、朝日新聞紙上で連載された作品をまとめたものです。(画像は 7 コマ目)



■『意匠文案満載 必ず利くチラシの拵らへ方』

清水正巳著 佐藤出版部 大正 5 (1916) 年  
商店経営に関する雑誌『商店界』を主幹していた清水正巳が、小売店向けにチラシの作り方を指南した資料です。



チラシの図案を豊富に掲載しており、大正時代ならではのものも多く見られます。こちらの写真は現在の百円均一ショップの先駆けともいえる、十五銭均一店のチラシです。(画像は 103 コマ目)

■『ロボット』カーレル・チャベック作、鈴木善太郎訳

金星堂 大正 13 (1924) 年  
原作はチェコの劇作家・チャベックの戯曲『R.U.R.』です。鈴木善太郎が『ロボット』として翻訳・上演しました。人造人間を意味する「ロボット」という言葉は、この作品により日本に広く伝えられました。(画像は 2 コマ目)



## 2 使い方

「具体的なタイトルはわからないけれど、明治・大正時代に読書について書かれた本を読みたい。」このような場合、まずはトップ画面の検索ボックスにキーワード「読書」と入力して検索してみましょう（右上画面）。近代デジタルライブラリーでは、タイトルはもちろん、目次に含まれる言葉からも検索が可能で、必要な本を幅広く探し出すことができます。

キーワード検索でうまくいかないときは、本のテーマからも探してみましょう。トップ画面の検索窓の下に「分類で検索」という項目があります。こちらをクリックすると、哲学や産業など、様々なテーマが表示されます。例えば「読書」に関する本を読みたい場合、「総記」をクリックすると「図書館・読書」の項目があります（右下画面）。ここをクリックすると、図書館および読書に関する本の一覧が表示されます。このように、テーマごとに本を一覧したい場合は、「分類で検索」をお使いください。

このほか、近代デジタルライブラリーの便利な機能として、画像の保存・印刷機能があります。また、画像それぞれのURLを表示する機能もありますので、好きな画像へリンクを張っていただくことが可能です。





相当な努力を払って調査しても著作権者と連絡が取れない場合に、文化庁長官が著作権者に代わって著作物の利用許諾を与える制度です。この制度により、近代デジタルライブラリーでは約9万タイトルが提供可能となりました。

平成17年に文化庁長官裁定を受けたものについては、有効期間（5年間）が平成22年に満了します。再び文化庁長官裁定を受けるにあたり、情報提供を求める公開調査を平成21年7月から8月にかけて行いました。寄せられた情報から、国木田独歩の妻である国木田治子さんなど4名の著作権承継者から近代デジタルライブラリーでの提供について許諾を得ることができました。この調査を経てもなお著作権者の連絡先が不明の著作物について、平成21年11月に文化庁長官裁定を申請しました。

近代デジタルライブラリーには、文学、産業、自然科学など幅広い分野にわたり、明治・大正時代の文化を知る手がかりがたくさん詰まっています。夏目漱石の『こゝろ』、『吾輩ハ猫デアル』や、福沢諭吉の『学問ノススメ』などの著名な作品の初期の版も収録しています。ぜひご利用ください。

（関西館電子図書館課、資料提供部図書館課）

## 資料あれこれ

「近代デジタルライブラリーの資料あれこれ」のページでは、次のような特色ある資料についてご紹介しています。ぜひご覧ください。



[http://kindai.ndl.go.jp/information/shiryō\\_arekore/shiryō\\_arekore\\_index.html](http://kindai.ndl.go.jp/information/shiryō_arekore/shiryō_arekore_index.html)

- 『吾輩ハ猫デアル』のパロディを読む  
『吾輩ハ鼠デアル』など、夏目漱石が『吾輩ハ猫デアル』を発表した後、ブームに乗って出版された様々なパロディ本を紹介しています。
- 海外児童文学の翻訳書を読む  
『フランダースの犬』や『若草物語』、『ガリバー旅行記』などの本邦初訳を紹介しています。

## デジタル化担当者のある一日 “物”と“デジタル”の間で

DVD の入った中性紙製の箱が、書架に並べられていきます。その数、約 30 箱。DVD は 1,000 枚を超えました。

今日は、外部に委託して進めているデジタル化作業の成果物の納品日です。私の係が担当しているこの作業では、国立国会図書館が所蔵する大正期、昭和前期に刊行された図書約 10 万冊分のマイクロフィルムを半年間でデジタル化します。このうち、約 7,000 冊分の画像データが、今日納められました。

ご存知であればうれしいのですが、国立国会図書館は、「近代デジタルライブラリー」という電子図書館を運営しています（詳細は、本誌 pp.14-18 参照）。今回の作業で作成される画像データも、将来、近代デジタルライブラリーに収録される予定です。

外部に委託し、専門的なノウハウをもった企業の力を借りることで、デジタル化を大量に行うことができますが、そのために、私たち職員はあらかじめ作業の内容を把握し、基本的な事柄をもれなく文書で指示しておかなければなりません。作業が始まってからも、細かい問題がたくさん出てきます。1 本のマイクロフィルムで濃淡の差が大きい場合はどのようにスキャンする？ 提供するときの目次情報からのリンク先は、章の扉のページにする？ 章の本文が始



画像の仕上がりをチェックする

まるページにする？ 係で相談しながら、限られた時間で判断し、受託業者と連絡を取り合います。また、作業の要所要所で品質をチェックするのも大事な仕事です。

そうした日々を経ての納品日。まだ 10 万冊の 10 分の 1 にも達していませんが、1,000 枚以上の DVD を前にすると感慨があります。仕上がりへの期待を胸に、納品書に受領印を押しました。

デジタル化することで、資料を大切に保存しながら、同時に、より多くの方々の前で生き生きとよみがえらせた。そんな思いをもって、さらに作業を進めます。

（電子図書館課資料電子化係 もっこすくん）

## 国立国会図書館を見学してみよう

### 関西館編

国立国会図書館は、国民の皆様には施設や機能を広く知っていただくために、東京本館、関西館、国際子ども図書館で館内見学を行っています。

関西館は、地下の書庫を含めて約1時間程度の館内見学を実施しており、平成20年度には2千人以上の方々が見学に訪れました。これから誌上にて、関西館の見学コースをご案内します。



#### 関西館について

関西館は、年々増加する蔵書に対応する大規模な収蔵施設を確保するとともに、近年の急速な情報通信技術の発展に対応した図書館サービスを行うため、平成14年10月、京都・大阪・奈良の三府県にまたがる関西文化学術研究都市内（京都府相楽郡精華町）に開館しました。遠隔利用サービスの窓口、全国の図書館との協力事業、所蔵資料を電子化し、またウェブ情報を収集・蓄積して、インターネットを通じて提供する電子図書館の機能を担っています。また、国立国会図書館の蔵書のうち、外国の雑誌、アジア言語資料、科学技術関係資料、国内外の博士論文、文部科学省科学研究費報告書等を収蔵しており、これらは関西館独自のコレクションとして重

要な役割を果たしています。

関西館の建物は、地上4階、地下4階で延床面積は約6万㎡あります。外側から見える地上の建物部分は事務棟（事務室・研修室等）で、これらは延床面積全体の2割に過ぎません。延床面積の大部分は地下部分が占めており、地下1階に閲覧室、地下2

階から地下4階までは書庫が設置され、約600万冊の資料を収蔵することができます。

国立国会図書館は、国内で唯一の納本図書館としての役割を担っています。日々発行される日本の出版物を受け入れ、それらを未来に伝えるため長期間保存しており、所蔵資料は年々増加していきます。このため、大規模な収蔵施設が必要不可欠なのです。

また、建物の随所が緑化されており、周囲の自然環境や都市環境に配慮した建物となっているのも関西館の特長です。



## 1 階エントランス

関西館の外壁には「ガラスカーテンウォール」と呼ばれる二重のガラスが使用されており、二重ガラスの間に空気の層を設け、断熱効果を得ることにより省エネルギーに貢献しています。

建物前方ののこぎり状の部分（下写真）は、地下1階の閲覧室の屋根です。斜めになっている北面には芝を張り断熱効果を高め、太陽光が当たる南面はガラス張りにすることにより、自然の光が地下の閲覧室に降り注ぐよう



な工夫がなされています。

## 地下1階閲覧室

地下1階の閲覧室には「総合閲覧室」と「アジア情報室」の二つの閲覧室があります。

総合閲覧室（下写真）には、各分野の参考図書（アジア地域に関するものを除く）、抄録・索引誌、



国内の官庁出版物・法令議会資料、図書館情報学に関する資料、主要な雑誌、新聞、全国の電話帳等約9万冊があり、自由に手にとって利用することができるようになっています。

アジア情報室（右写真）には、東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、



中東・北アフリカの地域に関する和・洋・アジア言語の参考図書、基本図書のほか、主要な雑誌・新聞など約3万冊があり、総合閲覧室と同様に自由に手にとって利用することができます。アジア関係の資料は、東京本館から移送してきたもののほか、関西館開館後には大幅に雑誌・新聞の提供タイトル数を増やしており、日本国内でも有数のコレクションとなっています。また、インターネットを通じて利用できるサービスもあります。詳しくはホームページまたは本誌584（2009年11月号）pp.10-12をご覧ください。

関西館の利用についてわからないことがあれば、総合案内のスタッフがお手伝いします。また、初めて関西館を利用される方を対象に、基本的な利用方法をコンパクトにご紹介するミニガイダンス（利用講習会）を定期的に開催しています。所要時間は約30分間です。

## 地下書庫

次に、見学コースのメインである書庫をご案内します。

利用者の方は、通常は書庫に立ち入ることが



できません。国立国会図書館では、所蔵資料のほとんどが書庫に収蔵されており、書庫内の資料は、必要に応じて、閲覧室のカウンターや事務室に運ばれます。関西館の書庫は、地下2階から地下4階に設置され、約600万冊の資料を収蔵することができます。書庫の1階分の広さは、東西127.5m、南北60mもあり、国際試合が開催されるサッカーフィールドとほぼ同じくらいの広さとなっています。

書庫は、カビや虫害等から資料を守るため、年間を通じて、温度22度、湿度55%前後に管理されています。また、資料にとって大敵である湿気や水漏れを防ぐために、火災が起きた場合も水ではなく、窒素ガスを一気に噴射して消火するように設計されています。

書庫は、カビや虫害等から資料を守るため、年間を通じて、温度22度、湿度55%前後に管理されています。また、資料にとって大敵である湿気や水漏れを防ぐために、火災が起きた場合も水ではなく、窒素ガスを一気に噴射して消火するように設計されています。

そのほか、集密書架（固定書架の2倍から3倍の資料を収蔵することが可能）、マイクロネガを保存するためのマイクロネガ保存庫、マイクロフィッシュやマイクロフィルムを保管するための

電動回転ファイル（右写真）などがあります。

次に、国立国会図書館では関西館のみに設置されている自動書庫（下写真）をご紹介します。



この自動書庫は、地下4階と地下3階の一部を吹き抜けにしてスペースを確保しており、奥行き120m、幅15m、高さ7mのスペースに約2万8千個のコンテナが収納されています。コンテナ1個に約50冊の資料を収蔵できるため、この自動書庫だけで140万冊の収蔵能力があり、省スペースでありながらも大規模な収蔵を可能にしています。



自動書庫の資料は、バーコードで1点ずつ管理されており、必要な資料が入っているコンテナをクレーンが地下3階まで運んできます。その後、資料搬送設備により、閲覧室のカウンターや事務室に運ばれます。

### 遠隔サービス

最後に、遠隔複写サービスの舞台裏をご覧ください（右写真）。国立国会図書館に届く複写申込みは年間約33万件で、このうち約45%を関西館で処理しています（詳細は本誌588（2010年3月）号でご紹介します）。また、全国の図書館に対する貸出しサービスも行っています。



以上、少しでも関西館の魅力が皆様に伝わることを願いつつ、誌上での見学コースを終了します。

（関西館総務課）

### 見学のご案内

関西館では、関西館紹介ビデオの上映と館内をご案内する見学（所要時間1時間）を開館日（火～金曜日）の10:00～12:00、14:00～16:00に実施しており、1名から24名まで参加できます。また、ガイドツアーは、開館日（火～金曜日）の13:10から40分程度で館内をご案内しており、定員は10名です。

○お申込み、お問い合わせ

関西館総務課総務係（直通電話 0774(98)1224）

また、ホームページで「バーチャル・ツアー」をご覧になれます。

国立国会図書館ホームページ>関西館

>利用案内>関西館の参観について

[http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/guide/v\\_tour/tour/tour\\_top.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/guide/v_tour/tour/tour_top.html)



## 第1回 恋愛論の100年を読む

日本人の恋愛観が、さまざまな世相を反映し変遷してきたことをご存じでしょうか。自由恋愛をめぐって論争が起きた時代、心中が流行した時代、純潔教育がなされた時代、と今からは考えられないような歴史があるのです。明治以降の恋愛観の歴史を通観し、この個人的かつ社会的な問題を考える手がかりとなる様々な「恋愛論」—恋愛を論じた書物—をご紹介します。

明治維新とともに輸入された様々な欧米文化のうち、英語の“love”は「恋愛」と翻訳されてしだいに定着していきました。この時期の恋愛論は、欧米文学、キリスト教の影響を強く受けているのが特徴です (1)。

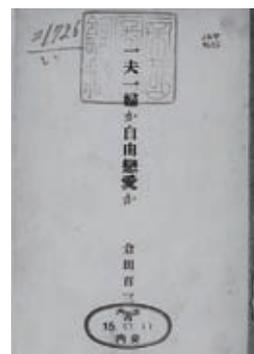
しかし、「恋愛」概念を導入して高らかにその恋愛のすばらしさをうたってはみたものの、「男女七歳にして席を同じゅうせず」、結婚は親の決めた相手と、といった考え方が主流の大正から昭和初期には、自由に恋愛を行うことは賛否両論でした。また、今でいう不倫は法律で「姦通罪」として罰せられたため、人妻との自由恋愛の末に心中した有島武郎や、華族夫人の墮落などが話題になりました。大正10(1921)年には朝日新聞が「近代の恋愛観」を連載し、恋愛至上主義としておおいに人気を呼びました。一方で、果たして恋愛が人生の目的になれるのかという批判も相次いでいます (2, 3)。

その後、戦時色が濃くなると、恋愛の自由も影を潜めるようになり、「産めよ殖やせよ」政策によって、優生学的に有利とみなされていた、低年齢での結婚が奨励されました (4)。

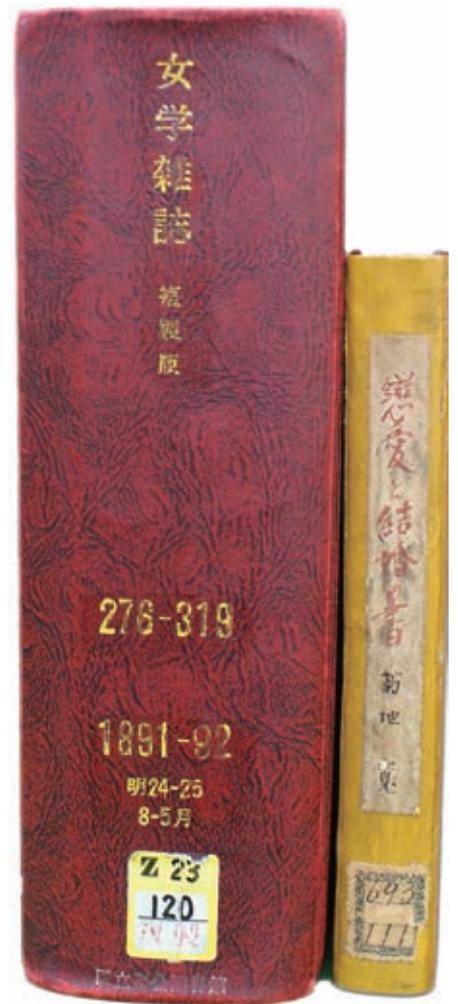
戦争が終わった昭和20(1945)年以降には、再び恋愛が自由に論じられるようになりました。また、「男女交際」が認められ始め、その手引き書が多数発行されました。主に男性向けに、レディファーストを基本とし、恋愛はかくあるべきと説く、少し硬めの内容でした。一方で、ゆきすぎた男女交際を事前に防ごうと文部省が「純潔教育」を奨励していたため、男女の交際について細かく指導している本もあります (5)。

1 北村透谷「厭世詩家と女性」『女学雑誌』(303) pp.696-700、(305) pp.746-748 女学雑誌社 1891(明治25)年(写真は複製版)  
<請求記号 Z23-120>  
「恋愛は人世の秘鑰なり」(鑰とは鍵の意)で始まるこの一文は、恋愛が人生において最も重要であると説き、当時の、また後世の人々に大きな影響を与えた。掲載されたのはキリスト教系女学校の雑誌。

2 倉田百三著「一夫一婦か自由恋愛か」岩波書店 1926(大正15)年 281p  
<請求記号 367-Ku55ウ>(近代デジタルライブラリーでご覧になれます)  
「人格の完成」のためには「多夫多婦の自由恋愛」ではなく一夫一婦が必要と説く。

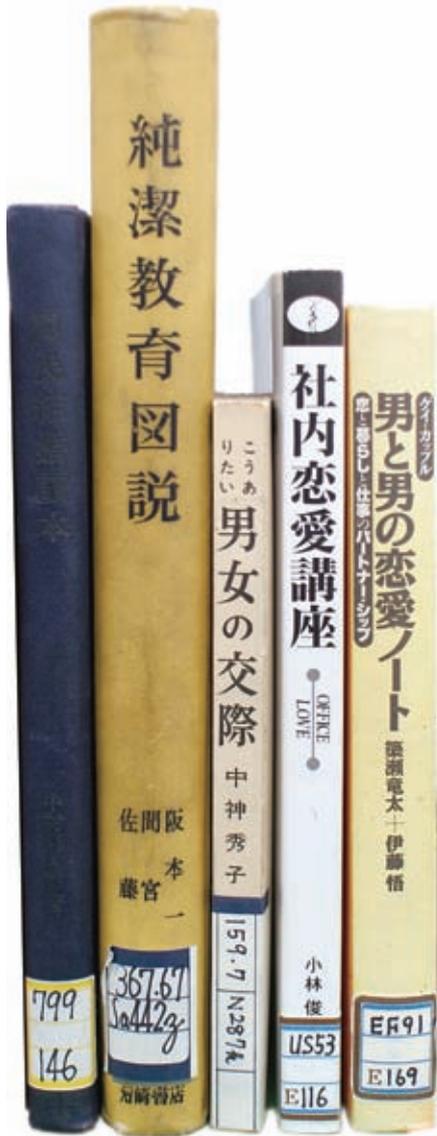


3 菊池寛著『恋愛と結婚の書』モダン日本社 1935(昭和10)年 281p  
<請求記号 693-111>  
「私は恋愛と云ふものを、人生に欠くべからざるほどよいものとは思つてゐない」



1

3



4 5 6 7 8

4 中村明人、板井武雄著『国民結婚読本』 日本青年教育会 1940 (昭和 15) 年 202p  
<請求記号 799-146 >  
「全國民の結婚に對するより正しき認識と自覺を促」すことを刊行の目的とする。

5 阪本一郎、間宮武、佐藤正著『純潔教育図説』岩崎書店 1957 (昭和 32) 年 281p  
<請求記号 367.67-Sa442z >  
「異性と 2 人きりで同室する場合には、(a) 扉や戸を開けておくこと。(b) 机を挟んで対座すること。(c) 膝をだらしなく崩したりしないこと。(d) 身体の触れ合うような座の占め方をしないこと。」

6 中神秀子著『こうありたい男女の交際 美しい友情→恋愛→結婚のために』文理書院 1964 (昭和 39) 年 260p  
<請求記号 159.7-N287k >  
女性の社会的地位の変化に伴う様々な変化を紹介する。

7 小林俊之著『社内恋愛講座』 WAVE 出版 1995 (平成 7) 年 199p  
<請求記号 US53-E116 >

8 築瀬竜太、伊藤悟著『男と男の恋愛ノート』 太郎次郎社 1994 (平成 6) 年 221p  
<請求記号 EF91-E169 >

昭和 30 (1955) 年代には、男女共学が増え、男女が共に参加する活動が多くなった世相を反映して、「友情と恋愛の違いは何か」、「男女間に友情は成立するのか」といった微妙な問題が多く議論されるようになりました (6)。また、サークル活動や青年運動といった社会への働きかけと恋愛を不可分なものとして論じる向きもありました。

この時期、高度成長がもたらした豊かな生活、学生運動がもたらしたアナーキーな考え方によって、恋愛観も大きく変化しました。しかし昭和 30 年代後半から昭和の終わりにかけては、恋愛論はあまり出版されていません。恋愛論を読むよりも、自ら実践する時代だったのでしょうか。

そして、マニュアルの時代と呼ばれる現代。恋愛についても、軽いマニュアルものが多数出現しました (7)。「恋愛はかくあるべき」という以前の恋愛論に比べて、手順をうまく進めることが主眼となっているのが特徴です。また、価値観の多様化とともに、それ以前にはあまり表に出てこなかった恋愛の多様性が表面化し、様々な視点から恋愛のあり方が論じられるようになりました (8)。これから「恋愛」はどのように変化してゆくのでしょうか。

※この記事は、平成9年に行った第77回常設展示「恋愛論の100年」をもとにしています。これまでの常設展示については、国立国会図書館ホームページ>調べ方案内>リサーチ・ナビ>本の万華鏡>過去の常設展示一覧 (<http://navi.ndl.go.jp/kaleido/back.php>) をご覧ください。  
※写真は国立国会図書館の所蔵資料を撮影したもので、実際の装丁とは異なる場合があります。

(主題情報部参考企画課、総務部総務課)

# 地図資料の探し方

## 図書館で学ぶ 第6回

調べものに役立つ情報や資料の活用法など、国立国会図書館ならではの知識を紹介します。

国立国会図書館では、明治以降に国内外で発行された一枚ものの地図を約47万枚、住宅地図を約5万冊所蔵しています（平成21年3月末現在）。今回は地図資料について、その特徴、当館での所蔵確認方法、インターネット上の有用なサイトをご紹介します。

地図には、地形図、地質図、海図、都市計画図など様々な種類があります。そのほかに、いわゆる住宅地図や道路地図などもあります。地図を利用する目的によって、地図の種類もおのずと異なります。例えば「横浜の地図が見たい」という場合、土地の高低や起伏などを知りたいのであれば地形図、地質の状況を知りたいのであれば地質図、自動車で観光をしたいのであれば道路地図など、目的に合った地図を選ぶ必要があります。

今回は国立国会図書館が所蔵する地図資料の中から、お問い合わせの多いものを中心にご案内します。

### 住宅地図

住宅地図とは、建物名や建物ごとの居住者を記載している地図の総称で、「航空地図」、「明細地図」などと呼ばれることもあります。地域史研究、自分史の執筆、不動産取引の地歴調査などで、特定の住所から地図を細かく見る必要がある場合によく利用されます。

できるだけ古い八王子市の住宅地図を探すには

国立国会図書館では、地域によって異なりますが、次の年代から住宅地図を所蔵しています。

東京23区、横浜など：おおむね1960年代以降

その他の都市部：おおむね1970年代以降

地方の市町村：おおむね1980年代以降

所蔵を確認するには、蔵書目録であるNDL-OPAC（国立国会図書館蔵書検索・申込システム）を検索します。

図1 NDL-OPAC <http://opac.ndl.go.jp/>

図1のように、まず〔一般資料の検索／申し込み〕の画面で、〔地図〕のチェックボックスにチェックを入れます（①）。タイトル欄に「八王子市」（②）、分類記号欄に住宅地図の標準サイズを示す分類記号「YG111」<sup>1</sup>を入力し（③）、検索します。タイトルには、市町村名のみを入力するのがポイントです。タイトルに「住宅地図」等を入力すると、刊行年の古いものなどが検索結果に含まれない場合があります。

検索結果が表示されたら、発行年が古い順に並べ替えるため、〔出版年順〕〔逆順〕を指定して再表示します。国立国会図書館が所蔵する八王子市の住宅地図では、東京都全住宅案内図帳の1冊として発行された1959年のものが最も古いことがわかります。

市町村合併などで自治体名が変更されている場合には、変更前の名称でも検索してみてください。例えばつくば市の場合、「つくば市」で検索すると1987年以降しか表示されませんが、合併前の市町村名で検索すると、1980年前後のものも所蔵していることがわかります。

## 日本の地形図

地形図とは、主に実測によって作成される基本的な地図です。一般に、国土の基本情報として、国家によって体系的に整備されています。日本の地形図の代表的なものには、国土地理院およびその前身の機関（内務省地理調査所など）が発行する地形図があります。

国土の全域をカバーする比較的縮尺の大きいものとして、2万5千分1地形図、5万分1地形図があります。収録区画にもよりますが、古いものは明治時代から所蔵しています。



図2 国土地理院 地図閲覧サービス（ウォッチーズ） 検索画面  
<http://watchizu.gsi.go.jp/>

### ■ 2万5千分1地形図

国の基本図であり、統一した規格で国土の全域をカバーする最も縮尺の大きい地形図です。土地の高低や起伏、水系、植生、土地利用、道路、鉄道、建物などの状態が正確に表されています。

現在、国土地理院のホームページ「地図閲覧サービス（ウォッチーズ）」では、最新の2万5千分1地形図情報を試験公開しています（図2 プリントアウト不可）。

### ■ 5万分1地形図

1964年までは国の基本図として作成されていました。その後、2万5千分1地形図4枚を1枚に編集して更新されていましたが、2008年度をもって更新が停止されています。

2万5千分1地形図に比べるとやや情報が省略されていますが、数市町村程度のより広い範囲を一度に見ることができます。

#### 平塚周辺の2万5千分1地形図を探すには

特定の場所の地形図を探すには、まずその場所が収録された地図の図名を調べる必要があります。

図名は『国土地理院刊行地図の地図索引図』＜請求記号 YP5-H93＞、東京本館地図室の事務用目録のほか、次のウェブサイトで調べることができます。

- ・ 国土地理院 5万、2万5千分1地形図図歴  
<http://www.gsi.go.jp/MAP/HISTORY/5-25-index5-25.html>
- ・ 日本地図センター 国土地理院発行地図一覧図  
<http://www.jmc.or.jp/map/ichiran/top.html>

1 その他のサイズについては「国立国会図書館分類表（NDLC）」のYG（地図）の項を参照（<http://www.ndl.go.jp/jp/library/data/y.pdf>）。

国立国会図書館の所蔵を確認するには、図3のように、まずNDL-OPAC〔一般資料の検索(拡張)／申し込み〕の画面で、〔地図〕のチェックボックス(①)にチェックを入れ、検索結果を絞り込むために、タイトル欄右の「細分」をクリックし、本タイトル欄(②)に図名を入力します。分類記号欄に日本の地形図を示す分類記号「YG1-Z」<sup>2</sup>(③)を入力します。縮尺で絞り込みたい場合は、最下段の「各種コード」(④)から「縮尺」を選択し、「リストから選択」で「25000」を選び、検索します。

図3 NDL-OPAC

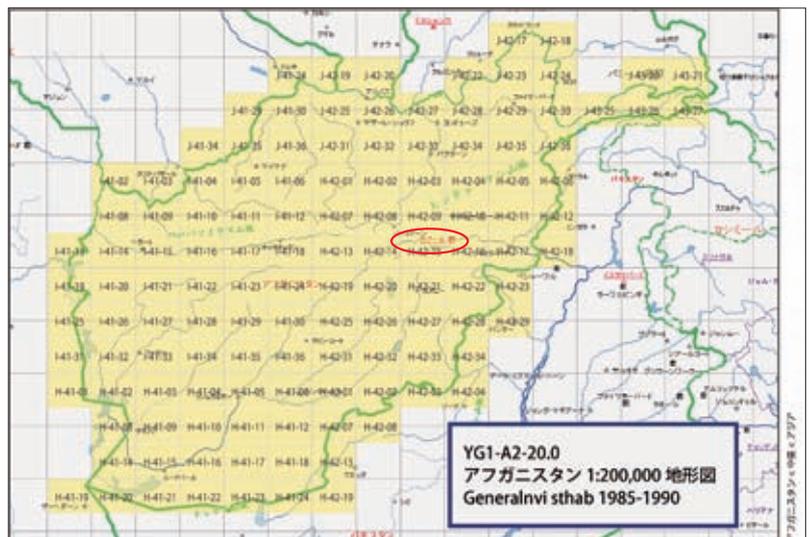
旧版の地形図の場合、同じ場所でも発行年により図名が変わっていることがあります。そのような場合は、請求記号で再検索してみましょう。日本の地形図の場合、同じ場所であれば、国立国会図書館では発行年にかかわらず同一の請求記号を付与しています。

先ほどの検索結果からわかった請求記号を請求記号欄に入れて検索します。「平塚」の場合、図名で検索すると1940年以降のものしか見つかりませんが、請求記号から検索すると、以前は「大磯」の図名で1927年から所蔵していることがわかります。

### 世界各国の地図

国立国会図書館では、約150の国・地域の地図を基本図を中心に所蔵しています。ホームページ「リサーチ・ナビ」の「本の種類からさがす」>「地図」>「世界各国の地図(国名・地域名一覧)」では、おもな所蔵資料の索引図を国別、地域別に紹介しています。世界各国の地図にはNDL-OPACで検索できないものが数多くありますが、索引図では、これらの資料の所蔵も確認することができます。

図4 リサーチ・ナビ アフガニスタンの地図  
[http://mavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/post.php](http://mavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/post.php)



アフガニスタンのカブール周辺の地図を探すには

「リサーチ・ナビ」で、「世界各国の地図（国名・地域名一覧）」のページの「アフガニスタン」を見てください（前頁図4左）。

20万分1地形図を所蔵していることがわかります。画像をクリックすると、索引図が表示され、所蔵の詳細を確認することができます。

索引図で色のついている箇所が、当館の所蔵範囲です（前頁図4右）。カブール周辺の地図を所蔵していることがわかります。

外邦図

外邦図とは、戦前に旧陸軍参謀本部陸地測量部（現在の国土院）が主に軍事目的で作成した満州や中国、東南アジアなどの地図のことで、国立国会図書館では約1万5千枚を所蔵しています。当館以外には、大学で多く所蔵されており、次の大学のウェブサイトから外邦図の画像を見ることができます。

・お茶の水女子大学附属図書館

お茶の水女子大学 外邦図コレクション  
（文教育学部人文科学科 地理学コース所蔵）

<http://www.lib.ocha.ac.jp/digital.html>

兵要地誌図の画像を約70点公開しています。



・東北大学附属図書館／理学部地理学教室  
外邦図デジタルアーカイブ

<http://dbs.library.tohoku.ac.jp/gaihozu/>

約6,200点の画像を公開しています。また、東北大学のほか、京都大学、お茶の水女子大学、岐阜県図書館世界分布図センター、国立国会図書館の所蔵も確認することができます。



フィリピンの外邦図を探すには

図名やシリーズ名がわかる場合は、NDL-OPAC〔一般資料の検索／申し込み〕の画面で、〔地図〕のチェックボックスにチェックを入れ、タイトル欄に図名やシリーズ名を入力して検索します。地域を絞り込むため、分類記号欄にフィリピンの外邦図を示す分類記号「YG829」<sup>3</sup>を入力します。

2 その他の国の分類記号については、注1のNDLC 附表第1「国名記号表」参照 (<http://www.ndl.go.jp/jp/library/data/1.pdf>)。  
3 その他の地域については、注1のNDLC参照。

図名等がわからない場合は、リサーチ・ナビで地域別に所蔵資料を確認することができます。「外邦図」のページで、地域ごとにおもな資料を紹介しています（図5）。

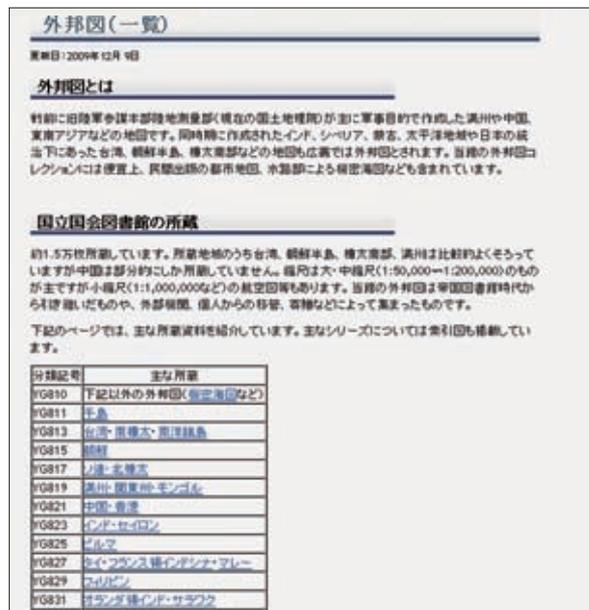


図5 リサーチ・ナビ 外邦図(一覧)  
[http://rnavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/theme-nonbun-601012.php](http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-nonbun-601012.php)

「外邦図(一覧)」の中から「フィリピン」を見てみましょう。おもな資料が表示されます(図6)。



図6 リサーチ・ナビ 外邦図(フィリピン)  
[http://mavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/yg829.php](http://mavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/yg829.php)

所蔵情報に「索引図」①とあるものは、クリックすると索引図が表示され、所蔵状況がわかります。索引図がない場合も、「一覽」②をクリックすると、PORTA(国立国会図書館デジタルアーカイブポータル)で所蔵を確認できます(図7)。



図7 PORTA

リサーチ・ナビ「地図を探す」のページでは、このほかにも地図室の所蔵資料を中心に様々な地図資料の探し方を紹介しています。どうぞご利用ください。



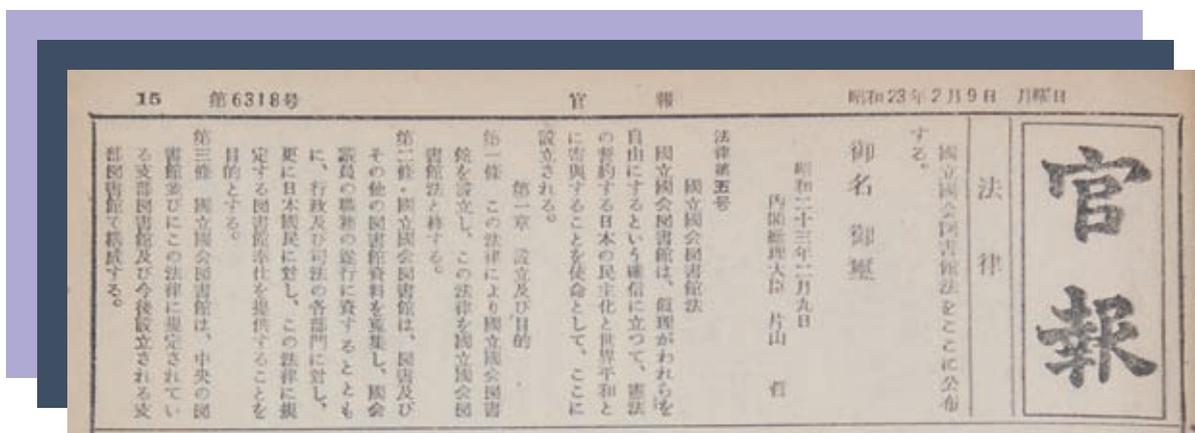
「地図を探す」は、リサーチ・ナビ(<http://mavi.ndl.go.jp/>)トップページの「地図」からご覧になれます。国立国会図書館ホームページ(<http://www.ndl.go.jp/>)>調べ方案内>リサーチ・ナビ

(主題情報部人文課地図室)

次回は、ビジネス情報の調べ方を紹介します。

## 官報 東京本館議会官庁資料室の資料から

国立国会図書館では、法令資料として、約 150 の国と地域の官報、法令集、判例集、条約集、主要法令のコンメンタール（逐条解説）等を所蔵しています。今回は、これらの資料の中でも特に利用の多い日本の『官報』をご紹介します。



国立国会図書館法が公布された第6318号（昭和23（1948）年2月9日）

### はじめに

『官報』は、法律・条約・政令・告示などの法令事項・国会事項・人事・裁判所事項・公告等を政府が一般国民に知らせるために発行する国の機関紙です。明治 16（1883）年 7 月 2 日の創刊以来、原則、行政機関の休日を除き、毎日発行されます。

国立国会図書館では、東京本館議会官庁資料室で、一部の資料を除き、創刊から現在までの『官報』を手にとりご利用になれます（平成 22 年 1 月末現在、明治期、大正期と第二次世界大戦後の占領期の一部は復刻版）〈請求記号 CZ-2-2〉。

### 官報の内容

『官報』の内容からお問い合わせの多いものを簡単にご紹介します。

#### (1) 法令等の条文（制定時）

法令等の「公布」は、官報への掲載により行われます。法令等の条文を調べる場合、『官報』や『官報』の法令部分のみを集めた『法令全書』〈請求記号 CZ-4-1〉を用います。公布日のみがわかっている場合は『官報』を、法令番号等がわかっている場合は、『法令全書』が便利です。ただし、改正法令の場合は、改正条文のみ収録されており、改正部分を反映した法令条文全体は収録されません。

なお、法令の公布日を調べる場合には、国立国会図書館のデータベース「日本法令索引」が便利です（<http://hourei.ndl.go.jp/>）。詳しくは本誌 583（2009 年 10 月）号 pp.23-27「法令・議会・官庁資料の調べ方」をご覧ください。

『官報』発行以前の法令については、『法令全書』

に、慶応3（1867）年からの法令が遡及して編集・掲載されています。『法令全書』も、創刊時から現在まで国会官庁資料室でご利用になれます（昭和20年代（1954年）までは復刻版）。

## (2) 法令の英訳条文

第二次世界大戦後の占領期に“Official Gazette (英文官報)” <請求記号 CZ-2-1 >が発行されており、国立国会図書館でも所蔵しています（一部欠号あり）。英文官報が発行されていた期間（昭和21年4月から昭和27年4月）に制定された法令については、政府による制定時の英訳条文を見ることができます。



Official Gazette no.3(1946年4月6日)

## (3) 叙位・叙勲者

叙位・叙勲者は、叙位・叙勲を受けた日以降の『官報』に掲載されます。春秋の叙勲（春の叙勲は4月29日、秋の叙勲は11月3日）は、通常、翌日の『官報』に掲載されます。

## (4) 国家試験の合格者

国家試験の場合、実施を定める政令等で、合格者の公示方法が『官報』で公告するものと定められていれば、『官報』に掲載されます。ただし、近年では、官報で公告されることは少なくなっています。

## (5) その他

裁判所の破産公告や企業の決算公告などの公告などが記載されます。

インターネットでは、国立印刷局の「インターネット版<官報>」(<http://kanpou.npb.go.jp/>)で直近30日分の『官報』を閲覧できるほか、有料データベース「官報情報検索サービス」で昭和22年5月3日以降の記事を検索・閲覧できます。その他の情報については、国立国会図書館ホームページの「リサーチ・ナビ」にリンク集がありますので、こちらもご利用ください (<http://rnavi.ndl.go.jp/politics/entry/link-gazette-j.php>)。

## 戦前の官報

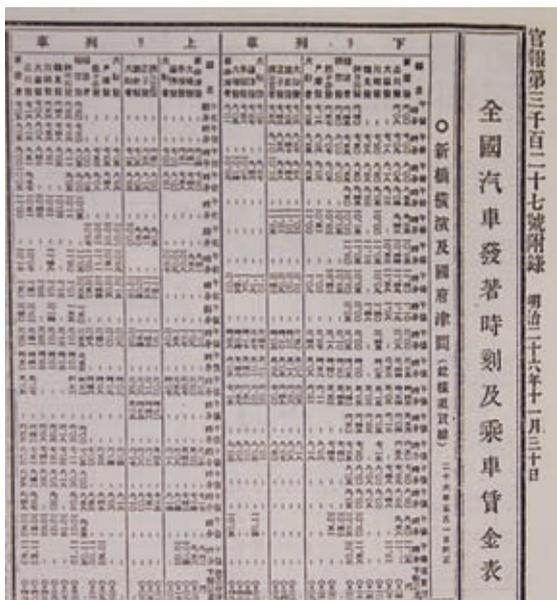
戦前に刊行された『官報』は、現在と異なり、

政府の公告事項以外の記事も収録されており、当時の雰囲気を知ることができる史料としての側面もあります。

#### (1) 明治期

明治期の『官報』には、現在の『官報』と比べて、新聞的、広報的な色彩が強く、内外の学術、文化、産業、社会等の各方面にわたる記事が収録されています。諸外国の情報、ニュースを対象とした外報記事は明治期の『官報』の特徴の一つで、官報局翻訳課には、外国語に秀いでた人達が集められていました。たとえば、小説家二葉亭四迷（本名長谷川辰之助）も一時期、官報翻訳課に在籍し、英字新聞やロシア語新聞の翻訳を担当していました。

もう一つの特徴として訂正欄があり、民間の新聞の誤報訂正が収録されています。



第3127号付録（明治26（1893）年11月30日）

また、時刻表(左下写真)など、意外なものが附録として掲載されている場合があります興味を尽きません。

#### (2) 大正・昭和期

大正8（1919）年4月に一般広告の取扱いが始まったことから、大正・昭和期の『官報』には、様々な業種の広告が収録されています（右写真）。広告は、文字だけでなくイラスト付きのものも収録されており、当時の雰囲気がわかる資料の一つとなっています。



第2549号(大正10(1921)年3月29日) p.741

#### おわりに

『官報』は、法令以外にも様々な事項が収録されており、制定順法令集以外の側面をもっています。様々な角度から『官報』を見つめ直すと、新たな発見があるかもしれません。

官報についてより深く知るために

- 『官報百年のあゆみ』大蔵省印刷局編・刊 1983  
<請求記号 AZ-311-190>
- 『官報発行100年記念特集』大蔵省印刷局刊 1983  
<請求記号 Y111-83A3588>
- 国立印刷局 官報とは  
<http://www.gov-book.or.jp/asp/Kanpo/Kanpo/>

（調査及び立法考査局議会官庁資料課）

# 本屋に ない本

国立国会図書館は、法律によって定められた納本制度により、日本国内の出版物を広く収集しています。このコーナーでは、主として取次店を通さない国内出版物を取り上げて、ご紹介します。

## ブラジル花卉産業史序説

坪井伸広、鶴島久男著 ブラジル花卉産業史編纂委員会編・刊  
〒157-0062 世田谷区南烏山1-1-21-405 (坪井伸広)  
2008.8 221頁 24cm <請求記号 DM229-J5 >

日本からブラジルへの移民は1908年に始まり、すでに100周年を迎えている。現在、ブラジルでは約150万人の日系人が暮らし、日本では日系ブラジル人のコミュニティが存在するなど、両国の人的な結びつきは深い。

ブラジルの各分野において日系人が活躍する中で、ブラジルの花卉産業も、日系の方々が多くを支えているということをご存じだろうか。

1950年代半ばから1990年代半ばまで、ブラジルの花卉産業は長期の成長を遂げた。これは、ブラジルの経済発展に伴う中間層・富裕層の増加によるとともに、日系・オランダ系生産者の参入に負うところも大きいという。彼らは花卉栽培を産業として確立し、生産力の強化と高級花の需要の掘り起こしに貢献した。

本書は、1940年代以降のブラジルにおける花卉産業の変遷を分析した学術研究書で、ブラジルの日系花卉類生産者の発起により、ブラジルで出版されたものである。出版の目的は、生産者の世代交代が進む中で、最初の世代の経験を次世代に引き継ぐことであった。「先駆者の事績は発展の手がかり」であるとの認識のもと、歴史がまとめられた。

分析は、需要、生産、流通、栽培技術の各分野に分けて行われている。例えば、需要と生産の関係においては、生産者が高所得者層の好みに対応する努

力を続けたことが指摘されている。高所得者層はしばしば親類や友人を招いてパーティを開き、華やかさを演出するために高級な花を飾っていた。彼らの好みはカーネーション、グラジオラス、バラ、キクと移り変わり、生産量もそれにあわせて変化した。

1980年代以降は、消費文化の多様化や生産者間の競争、インフレーションによる需要の減退等によって、花卉生産の高度成長は終了した。その後の停滞について、著者は、国民の所得水準の回復に伴っていずれ需要も回復すると見る楽観論を排している。花卉産業の発展のために、「ブラジル花卉類生産の将来と課題」と題する1章を設けて、流通面での問題や日系生産者の農業に対する考え方などにも言及して、今後の指針を提示している。

また本書は、「刊行のことば」によれば、ブラジルの花卉産業史をまとめた初めての資料である。執筆にあたっては、関連資料やデータの制約を、農業経済学の専門家である著者の分析や、関係者からの聞き取りによって補っている。本文中のコラムや巻末の年譜には、日系生産者の証言が紹介されており、移民史の断面を知ることができる。

なお、国立国会図書館では、インターネット上の電子展示会「ブラジル移民の100年」を行っている。ご興味のある方は、国立国会図書館のホームページでご覧いただきたい。  
はせがわ たかし  
(長谷川 卓)



## スリランカ 輝く島の美に出会う 特別展

東京国立博物館、読売新聞社編 読売新聞社刊  
〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1  
2008.9 253p 30cm <請求記号 K16-J175 >

子どもの頃、地球儀を回すのが好きだった。スリランカの首都「スリジャヤワルダナプラコッテ」は、その秘密の呪文めいた響きに、とりわけ心ときめいた記憶がある。しかし、日常生活において、我々がスリランカから連想するものは、紅茶と仏教、あとは宝石ぐらいであろうか。それほど身近な国であるとはいえないように思う。

この本は、一昨年9月から11月まで東京国立博物館において開催された特別展の図録である。

まず目を引くのは、表紙を飾る鮮やかな白象の壁画。本図録には、展示品の写真だけでなく、現地で撮影された遺跡の写真や様々な地図、見取り図がふんだんに収録されており、スリランカに行ったことのない人もイメージを抱きやすいように工夫されている（ちなみに、特別展会場の音声ガイドは、スリランカ出身のウィッキーさんが解説を担当し、好評だったという）。象などの動物の治療のために使われた30センチ以上もある象牙製の浣腸器や、アジアの広い地域で見られる嗜好品である檳榔子（<sup>びんろうじ</sup>噛みたばこのように使われる）を切るための専用の鋏など、お国柄があらわれる展示品もあって興味深い。

次に、この図録の構成が原則として編年体であることは、スリランカがたどってきた歴史の流れを読み手に分かりやすく伝えるのに適している。伝承によれば、スリランカ初の王朝建国は前5世紀である

が、前3世紀にインドから仏教が伝来し、一大拠点となった。また、インド南部の諸王朝によるスリランカへの侵入は、時として大きな政治的侵略へと発展し、その結果、ヒンドゥー教の信仰や



文化も根付くこととなった。さらに、その後のアラブ人やムーア人の移住、ポルトガル、オランダ、イギリスの植民地支配の影響下でのキリスト教や西洋文化の受容は、結果的に多様な文化を融合した独特の世界をスリランカにもたらした。

この文化的多様性については、インド洋に浮かぶ島国という地理的条件も大きく影響している。スリランカは、古代ローマのプリニウスやプトレマイオスの著作にも記述があり、出土したローマ帝国の貨幣は、この地が古代から交易の要衝として栄えたことを示す。図録内のコラム「スリランカを訪れた外国人の記録」や巻末の略年表では、東晋の僧法顕、マルコ・ポーロ、イブン・バトゥータ、明の鄭和などがスリランカを訪れていたことが紹介されている。

この特別展の展示品は、スリランカ政府の全面協力を得て出品されたもので、図録の展示品解説、コラム、4本の研究論文も非常に充実している。たとえば特別展を観なかった人でも、この図録を読めば、「輝く島」(スリ・ランカ)に対する知的好奇心をかき立てられ、スリランカに対する理解が深まるに違いない。  
(おちみどり 落美都里)

## 隅田川文化の誕生

### 梅若伝説と幻の町・隅田宿

すみだ郷土文化資料館開館十周年記念特別展 展示図録

墨田区教育委員会事務局生涯学習課すみだ郷土文化資料館編・刊  
〒131-0033 東京都墨田区向島2-3-5

2008.11 173頁 A4

<請求記号 KG745-J23 >

本書は、すみだ郷土文化資料館開館10周年を記念して開催された特別展の図録である。梅若伝説を紹介した近世の絵巻物（『梅若権現御縁起』と『梅若丸伝記』、『梅若丸』）をカラーで紹介した第2章を中心に、中世以降の隅田川周辺の伝承や文学を取り上げたものである。

開館10周年といえば、すみだ郷土文化資料館が開館した1998年には、連続講演会「隅田川—伝説と歴史の間」が行われ、その内容をもとに『隅田川の伝説と歴史』（すみだ郷土文化資料館編、東京堂出版、2000年）が刊行された。『伊勢物語』や『更級日記』などの古典文学が歴史的に分析されている興味深い一冊であり、また筆者が梅若伝説を知るきっかけとなったのが、この本との出会いであった。

梅若伝説は次のような話である。幼少で寺に預けられた梅若丸が人買い商人である信夫の藤太しのぶにさらわれて奥州へ向かう途中、隅田川のほとりで病死してしまう。梅若丸を探していた母親（本書の表紙に見える女性）が、隅田川を舟で渡っているときに、念仏を唱える人びとの声を聞き、梅若の一周忌が行われていることを知る。梅若の塚で念仏を唱える母の前に梅若の霊が現れる。母はそこに庵を編み霊を弔うが、梅若に会いたい思いで底なしの池に入水する。

この話は、世阿弥の嫡子観世元雅（-1432）作の謡

曲「隅田川」で紹介され世に知られることになる。梅若の墓とされる梅若塚があるもくぼじ木母寺（墨田区）では、現在でも「梅若忌」が行われている。

前述の『隅田川の伝説と歴史』では、梅若伝説を歴史的に検討し、中世の隅田川で人身売買が行われていたのは、この地域が交通の要地であり、また、あの世とこの世の境界的性格をもつ地であったことによると考察していた。それから8年後の本書では、コラム「『梅若権現御縁起』の一つの読み方」で、絵巻の絵と詞書がずれており、詞書では舟の上で母親と乗客が悲しんでいるが、絵では乗客がくつろいでいるように見えることが指摘されている。絵巻を用いて当時の民俗を分析する手法は、近年、歴史学の研究で用いられるようになったもので、梅若伝説が様々な視点で研究されていることがわかる一節である。

このほか、本書の第1章では、「隅田宿」など中世の都市的な隅田川沿岸を再現するための資料を、第3章では、能「隅田川」や近世劇「隅田川物」に関する諸本を、第四章では木母寺の民俗行事や各地の梅若伝説についての資料を、第五章では、幕末から戦後に至るまでの木母寺の変遷についての資料を紹介している。梅若伝説が語り継がれるとともに、研究も進化し続けていることがわかる一冊である。

（濱田 久美子）



## 法規の制定

【規則第4号】国立国会図書館資料利用規則及び国立国会図書館国際子ども図書館資料利用規則の一部を改正する規則

(平成21年12月28日制定)

国立国会図書館法の一部を改正する法律（平成21年法律第73号）により、国立国会図書館法（昭和23年法律第5号）に国、地方公共団体、独立行政法人等のインターネット資料の収集に係る規定が置かれ、インターネット資料が図書館資料に含まれることとなるのに伴い、その利用手続について、従来の有体物の図書館資料とは異なり、無体物の電子情報と同一の手続によることとするために、定義の見直し等を行った。あわせて、著作権法の一部を改正する法律（平成21年法律第53号）の施行に伴い、視覚障害者等のための複製に係る規定等を整備するとともに、マイクロフィルムからの引伸印画サービスの廃止ならびに国際子ども図書館における年末年始の休館日の特例、資料の状態等による閲覧の制限、特別複写の許可および複写物の種類に関し、所要の規定を整備した。平成22年4月1日から施行される。ただし、著作権法の改正に伴う部分は、同年1月1日から施行された。

改正後の国立国会図書館資料利用規則（平成16年国立国会図書館規則第5号）および国立国会図書館国際子ども図書館資料利用規則（平成12年国立国会図書館規則第4号）は、この法規の施行後、国立国会図書館ホームページ>国立国会図書館について>関係法規（<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/laws.html>）に掲載される。なお、この法規は、平成21年12月28日付けの官報に掲載されている。

## お知らせ

### ■ 平成 21 年度 利用者アンケートの 結果をホームページに 掲載しました

国立国会図書館では、サービスの利用動向や利用者の満足度・要望を把握するために、毎年利用者アンケートを実施しています。平成 16 年度以降は、来館利用者を対象としたアンケートと、遠隔利用者（電子図書館サービスや遠隔複写サービスなど来館せずに利用できるサービスの利用者）を対象としたアンケートを交互に隔年で実施しています。

平成 21 年度は、東京本館、関西館、国際子ども図書館の来館利用者を対象としたアンケートを実施しました。実施期間、配布・回収数は下表のとおりです。アンケート結果はホームページに掲載しています。アンケートにご協力くださった方々に厚く御礼申し上げます。アンケートの結果を参考に、サービスの改善を図っていきます。

○ URL [http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/enquete2009\\_01.html](http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/enquete2009_01.html)

国立国会図書館ホームページ (<http://www.ndl.go.jp/>)

>国立国会図書館について>利用者アンケート

>平成 21 年度来館利用者アンケート結果

#### 平成 21 年度来館利用者アンケート

| 対象                        | 実施期間                   | 配布数<br>(件) | 回収数<br>(件) | 回収率   |
|---------------------------|------------------------|------------|------------|-------|
| 東京本館来館利用者                 | 8/27 ~ 8/29<br>(3 日間)  | 4,000      | 2,038      | 51.0% |
| 関西館来館利用者                  | 8/7 ~ 8/22<br>(13 日間)  | 2,129      | 1,129      | 53.0% |
| 国際子ども図書館来館利用者<br>(18 歳以上) | 7/25 ~ 8/5<br>(10 日間)  | 2,201      | 1,169      | 53.1% |
| 国際子ども図書館来館利用者<br>(18 歳未満) | 7/25 ~ 8/14<br>(18 日間) | 2,016      | 1,112      | 55.2% |

※ホームページでは、これまでのサービス改善の事例についても紹介しています。

(利用者アンケート>利用者アンケートを活用したサービス改善)

## お知らせ

### ■ 携帯電話向けサイトを開設しました



QRコード対応の携帯電話では、このQRコードを読み取るとアドレスが表示されます。

1月27日に、携帯電話向けサイトを開設しました。来館案内のページで、東京本館、関西館、国際子ども図書館の、所蔵資料の概要／入館資格／利用時間／休館日／所在地・連絡先／アクセス／イベント・展示会の情報をご覧になれます。開館時間や交通手段の確認などにご利用ください。

○ URL : <http://www.ndl.go.jp/m/>

### ■ 「カレントアウェアネス」関連情報のTwitterによる試行提供を開始しました

国立国会図書館は、図書館および図書館情報学に関する情報を「カレントアウェアネス」として冊子・メールマガジン・ウェブサイトで提供しています。1月5日から、この「カレントアウェアネス」に関する情報を、ミニブログサービス「Twitter」（ツイッター）で試行的に提供しています。

おもな発信内容は、国立国会図書館ホームページの「カレントアウェアネス・ポータル」にほぼ毎日掲載しているニュース速報「カレントアウェアネス-R」の新規記事のお知らせ（記事タイトルと記事へのリンク）です。また、メールマガジン『カレントアウェアネス-E』や冊子版『カレントアウェアネス』の刊行時に、それぞれの記事情報を発信します。そのほか、国立国会図書館のイベント情報等についてもお知らせする予定です。どうぞご利用ください。

○ 「カレントアウェアネス」のTwitterアカウント  
ca\_tweet ([http://twitter.com/ca\\_tweet](http://twitter.com/ca_tweet))

## お知らせ

### 『参考書誌研究』 バックナンバーを ホームページに 掲載しました

Reference Service and Bibliography

### 参考書誌研究

『参考書誌研究』は、図書館員のレファレンス業務や研究者の調査研究に役立つ専門書誌、資料研究等のほか、国立国会図書館が取り組んでいる主題情報の発信について紹介する記事を幅広く掲載しています（年2回刊）。

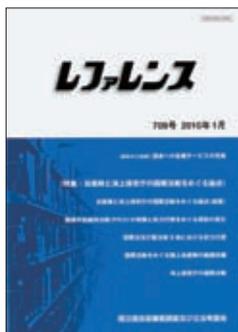
1月からホームページの「リサーチ・ナビ」上に、20号（1980年5月）以降のバックナンバーのPDF版を掲載しました（19号以前は目次のみ）。以後、順次さかのぼって掲載していく予定です。記事タイトルはリサーチ・ナビでも検索できます。どうぞご利用ください。

○ URL : <http://rnavi.ndl.go.jp/bibliography/>

国立国会図書館ホームページ (<http://www.ndl.go.jp/>)

>調べ方案内>リサーチ・ナビ>参考書誌研究

### 新刊案内 国立国会図書館の 編集・刊行物



レファレンス 708号 A4 93頁 月刊 1,050円 発売 日本図書館協会

- ・【新年のご挨拶】国会への各種サービスの充実
- ・自衛隊と海上保安庁の国際活動をめぐる論点〈緒言〉
- ・国連平和維持活動（PKO）の発展と武力行使をめぐる原則の変化
- ・国際法及び憲法第9条における武力行使
- ・国際活動をめぐる陸上自衛隊の組織改編
- ・海上保安庁の国際活動

入手のお問い合わせ

日本図書館協会

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14 03(3523)0812

## C O N T E N T S

- 02 Book of the month — from NDL collections  
*Winnie-the-Pooh* a story for children in the early 20th century
- 04 Talks with the Librarian of NDL (14)  
Dr. Ismail Serageldin, Director of the Bibliotheca Alexandrina  
Repository of knowledge molded by technology
- 10 From papyrus to PDF  
The rebirth of the Bibliotheca Alexandrina
- 14 Digital Library from the Meiji Era  
World of books in the Meiji and Taisho eras
- 20 Let's visit the National Diet Library — Kansai-kan of the NDL
- 24 Strolling in the forest of books (1)  
A century of love theories
- 26 Learning in NDL (6)  
How to search maps
- 31 Official gazette  
Materials available in the Parliamentary Documents and Official Publications Room  
in the Tokyo Main Library
- 19 <Tidbits of information on NDL>  
A day in the life of the person in charge of  
digitization: between "physical" and "digital"
- 34 <Books not commercially available>  
○ *Burajiru kaki sangyo-shi josetsu*  
○ *Suriranka — kagayaku shima no bi ni deau:  
tokubetsu-ten*  
○ *Sumidagawa bunka no tanjo : Umewaka  
densetsu to maboroshi no machi, Suda no  
shuku : Sumida Kyodo Bunka Shiryokan  
kaikan jussu-nen tokubetsuten : tenji zuroku*
- 37 <NDL NEWS>  
○ Laws established
- 38 <Announcements>  
○ Results of the user questionnaire survey FY  
2009 now available on the NDL website  
○ NDL's mobile phone website launched  
○ Information related to "Current Awareness"  
now available on Twitter on a trial basis  
○ Back numbers of *Reference Service and  
Bibliography* now available on the NDL website  
○ Book notice - publications from NDL

国立国会図書館月報

平成22年2月号 (No.587)

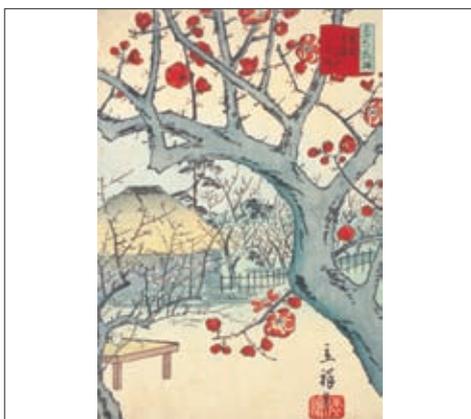
発行所 国立国会図書館  
編集者 網野光明  
責任者  
〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1  
電話 03 (3581) 2331 (代表)  
FAX 03 (3597) 5617  
E-mail geppo@ndl.go.jp

平成22年2月20日発行 定価525円  
(本体500円)

発売 社団法人日本図書館協会  
〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14  
電話 03 (3523) 0812 (販売)  
FAX 03 (3523) 0842  
E-mail hanbai@jla.or.jp

印刷所 株式会社エポ

本誌に掲載した論文等のうち意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りいたします。本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜すして転載される場合には、事前に当館総務部総務課に連絡してください。本誌517号以降、PDF版を当館ホームページ (<http://www.ndl.go.jp/>) > 「刊行物」 > 「国立国会図書館月報」でご覧いただけます。



「三十六花撰 東京大森山本紅梅」  
喜斎立祥画〔慶応2（1866）〕  
1枚 32×23cm  
〔「三十六花撰」<寄別2-7-1-7>所収〕

## 国立国会図書館月報

平成22年2月20日発行（毎月1回20日発行）  
（2月号通巻587号）

発売：社団法人日本図書館協会 定価525円（本体500円）